

科目名	グローバル時代の文学				授業形態		開講期間	12月8日～2月9日	
	英文科目名	Literature in Globalization			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	○	開講時間	金曜日 第4講時 14：45～16：15	
受講定員等	担当教員	佐藤 文彦					開講場所	金沢大学で確認	
	単位数 1単位 定員数 50名 特別聴講学生等定員 5名 科目等履修生定員 シティカレッジ聴講生定員 定員超過時の選考方法等 受付順					成績評価の方法		授業には3分の2以上の出席を必要とする。S（達成度90％～100％）、A（同80％～90％未満）、B（同70％～80％未満）、C（同60％～70％未満）を合格とし、以下を不合格とする。不可（達成度60％未満）。具体的な評価の方法（試験の形式など）は第1回の講義時に指示をする。	
授業料等	特別聴講学生 （大学等に在籍する学生）				科目等履修生 （社会人で単位を必要とする者）				シティカレッジ聴講生 （社会人で単位を必要としない者）
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
					9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	この授業では実際に文学体験をしてもらいます。その実際の体験に基づき、文学作品の読み方、文学作品の向こう側にある社会・文化・思想といった「文脈」を読み解くことの重要性を学びます。予習では、世界各地域の日本語、英語、フランス語、中国語による文学作品から選定された短編（翻訳）を読み、教科書を用いて各作品の読み方や作品を囲む文化・社会・思想的な背景についてのイメージを掴んでおいてください（授業における理解度を高め、また、ディスカッションの質を向上させるため、予習には少なくとも2時間以上を充てること）。授業では、各作品の読み方・解釈についての確認と補足的な説明を教員が行います。また、グループ・ディスカッションなどのアクティブラーニングを通じて、それぞれの作品の読みを深めてもらいます。								その他特記事項
	第1回 「グローバル時代の文学」序説 第2回 中国語文学 第3回 ドイツ語文学 第4回 フランス語文学 第5回 英語文学（イギリス） 第6回 英語文学（アメリカ） 第7回 日本語文学 第8回 総論・全体ディスカッション （なお、上記スケジュールは日程が変更される場合があります。ガイダンスの時の指示に従ってください。）								オリジナルテキスト・授業用資料を金沢大学生協から購入するか、以下のURLにアクセスし、この授業に該当するリンク先からテキスト・授業用資料をダウンロードもしくは印刷して必ず授業時に持参すること。 https://emuseum.el.kanazawa-u.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=168&item_no=1&page_id=13&block_id=10 ※リンク先へのアクセスには、「金沢大学ID」が必要です。基幹教育学務係に申し出ること。
授業担当教員紹介				URL					
ホームページ・メールアドレス等				E-mail		satof@staff.kanazawa-u.ac.jp			